学習指導案形式例【R８ 体育・保健体育科】
（群馬県教育委員会　健康体育課）

体育・保健体育科学習指導案

単元名「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」〔学指要領：A、〇学年、ア〕

令和〇年〇月〇日（〇）　第〇校時　体育館
〇〇立〇〇〇学校　〇年〇組　〇名　指導者　〇〇　〇〇

Ⅰ　単元の構想
1　単元の目標及び児童（生徒）の実態

	目　標	児童（生徒）の実態
知識及び技能	・	・ ・
思考力、判断力、表現力等		
学びに向かう力、人間性等		

＜文型・文末例＞
知及技「～を身に付けることが**できるようにする**。」
思判表等「～工夫し、～伝えることが**できるようにする**。」
学び等「～をすることが**できるようにする**。」

2　評価規準

知識・技能	① ②
思考・判断・表現	① ②
主体的に学習に取り組む態度	① ②

＜文末例＞
知・技、思・判・表「～**している**。」
主体態「～**しようとしている**。」
※健康・安全については「～している。」

3　指導及び評価の計画（全〇時間：本時第〇時）

時	学習活動	知	思	態
1	・～～～

【ねらい】
・「**中心的な学習活動＋本時に育成を目指す資質・能力**」とし、**教師の立場**で、具体的かつ簡潔に記述する。
・どの単位時間でも同じ記述にならないように、単元における本時の位置付けを明確にする。
・参観者が、「ねらい」を見ただけで、授業の主たる学習活動や目標をイメージできるように記述する。
（授業参観の視点となる）

【めあて】
・「ねらい」を達成するために「**何を**」「**どのように**」**学ぶのか**など、学習の見通しを明確に意識できる**児童生徒向け**の言葉を記述する。※「はばプラⅡ」参照

【主な学習活動】
・番号を付け、**児童生徒の立場**で、具体的かつ簡潔に記述し、時間は大まかに（〇分）で示す。
・「導入」「展開」「終末」の区切りは実線とする。

【予想される児童（生徒）の意識】
・**一人の児童生徒を想定**し、本時の「**ねらい**」**の達成に向かって意識が変容していく様子**を記述する。

【まとめ】
・「**めあて**」**に正対し、**育成を目指す資質・能力とつながる内容を記述する。

【振り返り】
・自分が学習したことの理解度や変容したこと、学習したことと他の学習や生活などとの関連、次時への見通しなどの視点から、児童生徒が本時の学習を見返した時に想定される意識を記述する。
※振り返りの時間を確保し、個人での振り返りを、全体で共有するするなどの工夫も考えられる。

Ⅱ　本時の学習（●／●）
1　ねらい　～～～